時事新報

言ふ可くして行はる可らざる乎

人民を導て殖産の道に入ふしむるの法は近くは識者の議論、遠くは後進生の教育ゐ在りと云ふと雖ども何れも存外ゑ無効なるものにして先づ我開國以來今日ゐ至るまで人の議論に依て業の進みたるを聞ゐず況や教育の如き從前今日までの教育法にては實業の擧らざるのみか教育を施して却て殖産に不適當ゐる人物を作り出したる例みゑ多かれ・誠に願ひに足らざるなり左れば勤業の要は議論にもゐらず教育にもゐらず我輩の所見を以てすれば唯自利の成跡を以て之を促ゞすの一法ゐるのみ人生、利を好まざるものゐし利の在る所ゑは促かざるも之ゑ走る可し而して民業に利を得せしむるの法い如何して可ゐらんと云ふに人民社會に資本を缺乏せしめずして其自由自在に任せ自から利するの心を以て自から働かしむること何よりの肝要ゐれば今政府と人民と相對して政府に入るものを減すれば人民に資本の餘る可きは睹易き數ゐるが故に我輩ゞこゝに殖産の一方に就て思ふがまゝを吐露すれば大に政府の歳入を減すること甚だ易からず減ゐる場合に於てい之を增すの要用を感するみとさへある處ゑ却て減少とは頗る困難にして時勢に行はる可らざるを恐るとは雖ども民間の殖産を目的にして其繁盛の道を求め次第に餘究すれば遂に歳入減少說に讓せざるを得ず減い此說を外にして別に妙案もゐらゐば我輩の悅んで敬と乞ふ所なれども世間に是れと立論もゐらざれば先づ節見に從ひ扨いよ〳〵歳入を減ずると決するときは同時に大に歳出を節するより外ゐ手段はゐる可らず第一番に政府の事務を縮小するみと必要なる可し官員の數は今日の五分一にするも事務の取扱を簡單輕便にして官員その人の全力を活用するときい日本政府の政權を維持して政令を施すに差支いなかるべし諸省の中ゐ大藏省內務省外務省陸海軍省の如きは缺く可らざれども農商務省文部省遞信省い之を廢して施政に不自由なかる可し元老院の廢すべきは勿論にして司法省も減い不用ゐるべしとの說ゐり宮內省に至りてい國より省と名くべき性質のものゐもゐらず諸省と離れ單に帝室と仰ぎ奉りて至當の事ゐらん此外に省略すべきは警察の事務ゐり縣廳の數ゐり郵便汽船の事なり勤業衛生等の事ゐり廢ずべきものは悉く之を廢して官途の休戚を簡易に組織し衣食を薄くし交際を質朴にし官吏の俸給も今の半にし又三分一に減じ酷ゑ云へば上は大臣より下は小吏ゑ至るまでも徒步辨當にて官省に出入するとまでに英斷實行ゑたらば中央政府の費用ゐ減するい三分の一以上ゐふしく地方費の如きは三分の二と節することも難からざる可し今の國民が政府の節に納ひる國稅七千五百餘萬圓地方費三千二百餘萬圓に內より凡そ五千萬圓と輕くして數年の間之を民間ゐ減じたらばその五千萬圓の金い國民殖産の資本と爲りて年々ゑ增殖し民生次第に厚きゐ從て工業も次第に興り振張して商賈に利益ゐる可し是は必然の勢なり民生餘裕厚ゑ即ち政府の事業の後續にして家て期する所の文明の事を行ふに費ゐの餘地を得べし但ゑ此數年の間い恰も政府の事業ゑ中止して民間に移すの日月なれと其際に官途は必ず寥々として淋しきみとならん官職の書吏は野に滿ちて故に唐書士族の如くに零落[illegible]ゐ書吏ゐらんに官途の淋ゑきのみゐらず桐へ[illegible]中の如き事ゐ書吏と共に商賈を營む者[illegible]於て書吏ゑ共に商賈の衰微を歎ゑ官も民も寂々寥々遽に其外面を見れば人事總て粗野鄙陋に陷り文明開化の退步と認るより外ゐきふとゐん然りと雖ども退て事態の內實と察すれば一時官邊の粗野鄙陋は其形を變じて民間生氣の資と爲り一陽既ゑ其殖産に來復ゑゐるものゐれば官民春と共ゑするの日は遠きゐゐふざるを知る可きゐり

以上い我輩今日の說ゑして之を外にして日本國の財政回復の道はゐる可ふず今の此衰頹のまゝに進みたふば他年一日大困難に山に突き當りて進むに進む可らず退くゑ既ゐ晚しと云ふが如き切迫ゐ陷るゐふとならんと思へども扨天下の勢は机の上に論するゞ如く自由ゐるものゐらず千差萬別の關係もゐり情實もゐりて事の利害は分明なるも之を顧るに遑ゐきの常なれば迚も我輩れ思ふゞ如く實際に行はゞざるゐるゐとならん且この事たるゐや政府の事業を扣目にゑ其費用を節減するの趣意にして甚ゞ面白からざる次第なれば如何ゐる金言も忽ち反對論に逢ふて衆口の爲めゑ銷さる可況は我輩の素より期する所にして之を名けて天下の形勢、國の運命と云ふの外ゐる可らずひかし織田信長が病に大志を抱きゐがら巧に當時の英雄に事へ辱を忍び垢を嘗め虛病武士と云はれても尙は平氣の顏色して他と嘲笑ゑ遂に天下を掌握したるが如きい實ゑ大勇の事ゑして大胆能く虛病と裝ふたるもれといふべし左れば今我國に於ても一時政府の組織を輔小そるときい其外面の粗野鄙陋ゐるゐと見るゑ忍びざるものもゐらん世界の文明に對して嘲弄せらるゝゐとゐらん其苦痛は戰國の武將が虛病者の名を取るに等しかる可しと雖ども唯大勇大胆れ士人にして之に堪ゆ可きのみ知ふず天下に其人ゐるや否や

雜報

○天津の需用品　大坂の東亞貿易商會へ支那天津ゐる同商會の支店より申越したる同地に適す可き商品の種類を聞くゑ酒類い重に昧淋、燒酎、泡盛、木材い檜、松、楠、杉等ゑて丸太及び板の類ゞ捌方よく角物は手合出來ざる由又陶器は食器の下等品にして伊賀信樂燒ゞ盛人多く紀州チルは無地の柿色實色は罪人の衣類に用ゐ其他鍋物もよろし木綿は長け支那尺六丈巾二尺四寸（支那尺は我曲尺一尺一寸五分）の物が需用多く漆器は總て捌口ゑし海產物い昆布、海草海苔、鰹節、干鮑、烏賊、瀨戸具、海鼠、貝柱等干物は寒天、椎茸、等なりしが就中海產物陶器は賣行多ゑを以て今度同商會にては大坂の海產物陶器商を雇入れ天津へ派出せしめ實地に就て其適す可き物品を鑑定せしめて追々輸出する見込ゐる由大坂より通信ゐりたり

○湯澄し油　昨年十二月の本紙上に湯澄し油の奬害ゐる次第と記載せしが其後高橋商務局長より此事に付東京商工會へ諮問する所ゐりしが同會にては取調の末此程左の通り答申に及びたる由

湯澄し水油の弊害は要するに明治十九年十二月十三日の時事新報に記載する所の如く全くの事實ゐり此湯澄し水油は常に黃色と帶びて透明ゐらず冬期に至りては特に凝濃の狀と呈す釜ゑ時事新報の報する所ゑれば一樽の搾油に熱湯一二升內外を投入し云々とゐれとも思ふに熱湯一二升を投入する丈ゑては未ゞ必ずしも斯かる狀を呈するに至らざるべゑ其必ず熱湯は外更に或る藥物ゑ混和し其性効によりて之を變ずるものならんか但し其製法に至りては未だ之を聞知し難しと雖とも聞くゑ所に據れば近年鐵道は便開けゑより勢州地方の油商人い江州地方より〳〵油、ムラダヤ油（共ゑ或る木實より搾取そるもの）桐油等を買入れ之を多少正種油中ゐ混和して販賣そるれ然起れりと云へば現に伊勢水油ゑ此弊害ゐるい並し此製法ゐよりて致す所ゐらん」搾取し油ゑ時として此弊害ゐきにあらず然れども是は常ゑ湯澄し法と用るとゐくして只注文多分に入嵩みて販品の間に合はざるが如き時ゑ限りて之と用ゆるのゑ要するに其弊害の最も多きものは綿り伊勢美濃油の兩種なりとす而して美濃油は從來東京府下ゐ於て取扱ふ所甚だ少きが故に現時當業者の取引上最も困難と感するものは特ゑ伊勢油の一種ゐりとす」目下東京府下にて實賣するには一々樽口と開封して檢査せざれた取引難相成程ゑはゐらず然れども仮令ゑ其樽口は封印の儘取引するも若し其品質粗惡なる時は賣主（即ち問屋）其責に任ずべきの申合ゐるが故ゑ此弊害の爲め現時商賣上に與ふる所の妨害實に少しとせず」此弊害の起因する所い詳ゐらずと雖ども從來水油を製造するには搾ゑ屋なる者ゐりて先づ問屋より原質物を借受けて水油を搾取し其搾取したる水油並ゐ粕を問屋に送ゑて問屋より製造賃を得問屋は之を受取りたる後凡四週間之を貯蓄し置ゑ其汚濁物沈澱し其色透明ゐるを待ちて始め之を販賣するの慣習ゐりしが其慣習は明治十年頃より漸く廢絕ゑ爾後搾ゑ屋問屋より原質物を借受くるとゐく自ら適宜に之を買入れて製造そるとなりたり然るに此等の搾ゑ屋と元來薄資れ者多く斯の如く其搾り取りたる水油を數日間貯藏するの餘力なきより爰に一夜湯澄しの法と發明ゑ遂に今日の弊害を馴致したるものゐらん」此弊害は從來より其形跡ゐきにゐふざれども明治十九年に至り特ゑ其しくゐれり依て東京府下ゐ問屋は之れが矯正法を議し當て產地問屋に照會したるとゐりたれども其弊害は素と搾屋れ爲す所なるを以て未だ其目的を遂ぐるゐと得ず依く近頃更に產地問屋に向ひ濃厚の水油は爾來決して取引せざる旨を照會し同年十二月廿日より之を實行せりと雖ども未だ充分其改良の實効と奏するを得ず現今尙當業者に於て取引上大ゑ困難を感せりと云ふ

○醫師の盟約　東京醫會赤坂區支部會員ゑては醫業の弊習を矯正ゑ醫風と高尙にするの目的にて會長與專廣氏を始め會員一同左の盟約を結びたる由

甲醫治療中ノ患者乙醫ニ治療ヲ乞フ者アルトキハ甲醫ノ引繼ヲ受ケス直ニ其請求ニ應シ藥劑ヲモ投與スルアルハ今日間々我醫師社會ニ行ハル、事ナルガ斯ノ如キハ既往ノ症狀ヲ審カニシ從前ノ治方ヲ明カニスルニ由ナシ且ツ甲醫ニ對シテハ同業者タルノ友誼ヲ欠キ治術上ニ於テモ德義上ニ於テモ兩カフ其道ヲ失フ者ト謂フヘシ今醫會設立ノ始メニ際シ我赤坂區支部會員ハ此弊習ヲ矯正シ以テ醫風ヲ高尙ニシ業術ヲ愼重スルノ第一着手トナシ本會ノ盛意ニ副ハント欲ス因テ左ノ盟約ヲ定メ各自調印シテ違背スル事ナキヲ誓ス

甲醫治療中ノ患者乙醫ニ治療ヲ乞フトキハ甲醫立會ノ上又ハ甲醫ノ引繼書ヲ受ケタル後其請求ニ應ス可シ否ラサレハ藥劑ヲ投與スヘカラス若シ患者危急ニ迫リ時刻ヲ移ス能ハザル場合ニ在リテハ臨時救急ノ手宛ヲナシ置キ速ニ甲醫ニ通知ス可シ（甲醫他區ノ開業醫ニ係ルモ亦同シ）此盟約ニ背ク者アルトキハ支部會ニ提出シ協議ヲ遂ク可シ

○二州の民、応を故國に傾く　獨佛戰爭の時獨逸が佛國より得たるアルサス、ローレイン二州の住民中ゑは今ゐ応ゞ佛國に傾くるものゐり其人々ゞ同州內れ獨逸人とは常ゑ相睦睨して其中宣ゑからず同戰爭の時メッツ（ローレイン州內の都府）近傍にて戰死したる佛兵一萬人內外を埋めたる墓處には今仮りに石碑と建てれとも右二州內の貴婦人等は其墓地を獨逸政府より買ひ受け立派なる石碑を建設して以て佛國の爲めに戰死ゑする人々の名を後世に傳へんとして今將に此事費用金の募集中なるが獨逸の官吏い二州仇民が兎角応を佛國に傾けく獨逸を怨恨するの念ゐる折柄此等の企を爲すものゐる時は益ゑ其念ゞ增長せしひるものなればとて大ゑ此企に反對せり又メッツの府會議員三名は此頃メッツ及び其近傍へ電話機架設の事に付同府の遞信管理局長に面會したるとき目的の次第を局長に物語るゐ佛語を以くしたれば局たるゑ議員等は之ゐ所ゐれば通辯を使用せんと承知せず當官衙に切應接する能ハずと

○耶蘇敎と信ずる各君主の數と事れば英國女皇を始めとし北伊太利モナコ國主人は名のみは書籍信伊太利西班牙葡萄牙リクテンスタイン內には少ゐくも三人り現に伊太利國王のるものにしてサキソン下過半の臣民は新教二十六人の內二人はる君主なりと一昨日

○英國の所得稅　當界一般の通勢ゐるが國の歲計報告書により同國にて二百磅以一千八百七十四年以一千八百八十四年以即ち所得稅を納ひる十年間に八割八步の即ち大頓を納ひるみゑ又昨年まで過去百著しきとゐるゑ生活少せゞ此等の事實は勞働社會の健康と增るも下に厚くして上

○朝鮮釜山近況　一當地は天氣は順當に降せり本年は元山仁しく當國ゐ居留する地上ゑ饑饉を見ざるば先づ休業れ有樣ゐ大豆の輸出はれゞ少ゐゑと云ふ金巾の港の肥後丸より二百元山行高千穗丸は二便にて來食捷の輸出る也下に厚くして上海を漁ゐ廻る由我國渡りし以來續々渡航嫁、福岡、廣島等れ漁の多きに及ゞと云ふ、鰹、鯖、海參等にて一箇年二十萬圓を得四萬圓を以て充分ゐ加の有樣ゐり尙詳細報せたる當地通信中ゐたれとも右ゞ少し頗寺別院にて供話機原重冬ゞ云へる人今の事なれば昨今も矢て同寺の關係を聞れ

本會設立目標は從前と雖ども當日臨盛に赴き從來の會員にては後陸に付き今般日本橋區堀江町四丁目四番地へ移轉之上左之課目を教授も有志諸君來學あれ但し授業時間い毎夕七時より十時迄ゝとせり
會話學科英語學科數學科簿記學科
日本橋區堀江町　大七郎

草沿山毛
二月五日
緒方惟準
住ス此段遠近辱知諸君ニ謹告ス

○上等一日金四十錢○並等一日金三十錢
二月一日
東京芝新堀町
起廢病院

本校第一年級生徒七ヶ年內ヲ入學後一ヶ年內ヲ上入學ヲ許ス
生徒